

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	か保連携型認定こども園イコロ昭和の森
施設所在地	東京都昭島市代官山1-2-2
法人名	社会福祉法人多摩育児会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

水

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

子どもたちは水筒から水分補給を行い、水の大切さを熱中症予防の観点から知っている。昭島の水は地下水なので夏と冬の水温の感じ方の違いなど直接手に触れ感じることも多く、井戸を掘ったことでより身近に触れる機会も増えた。池の掃除に使ったり、池に水を足したり、水やりに使ったりする中でもっと興味関心が広がって水を上手に使うことに繋がってほしいと思い設定した。

## 2. 活動スケジュール

令和7年8月～令和8年2月まで概ね2か月に1回活動した。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

環境設定おとして、水をすくったり集めたり流したり出来るようなものを準備した。その他水の流れを違った方向から見る為にライトテーブルを準備した。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

水遊びはカップなど通常使用の物を使うだけでなく、ビニール袋などを用意して水は入るかなの問いかけに水をみんなで入れてみて、周りをむによむによ触った感じに大喜びしたり小さな穴を開けてびゅーっと噴出す水も楽しんでた。凍らせて氷にし、割って溶けて行く様子を観察して水に戻ることを確認しあったり、池の掃除をしたり、メダカが泳ぐ様子を観察したり、透明な水に色がついたり泥や氷、霜に変化する様子などを観察していった。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

年長が池の周りの雑草を抜き3才児も池の側に行くことが出来るようになると池の水が汚れているのでよく見えないと声があがる。天気の良いある日、池の掃除に行きたい人一緒に行く?と誘いかけた。裸足になって中に入っていくと「ヌルヌルするね」「きゃー」と滑る中でバランスをとりながらスポンジでこすったりした。井戸の水をホースで流しいれると「つめたーい」「きゃー」と声をあげながら楽しむ姿があった。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

水をレジ袋に入れる発想に子どもたちは好奇心一杯の顔をしていた。形を変えるビニールに入れたことで様子が変わる感覚を手や腕から感じる事ができ、ぼよんぼよん、むぎゅなどといったオトマトペが次々とでてきた。重い軽いの比較する言葉や水を集める溜めるなど、感覚遊びは語彙が広がり共感もしやすい楽しい活動だと再認識できた。氷の活動は二回だったが今回はカップや皿に入れて時間の経過を待ち見に行くという遊びの継続が出来た。氷が溶けて水になる。日常的には当たり前のように受け入れている事実があらためて意識すると「水になっちゃった」と驚く様子がみられ新鮮だった。ひとつのカップにひびが入っていたため水すら無かったことに「えーなんでー」「ここに穴があるからここから流れてどっかにいっちゃった」と考察する楽しさもあった。完璧な物を準備するより少しマイナスされたものを用意するとこどもたちの想像力が広がり楽しいと感じることも出来た。